



ふんしんびより

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.3

2006年10月発行

親善友好都市との青少年ホームステイ交流を行っている白山市では、4月にオーストラリアペンリス市から高校生が、7月にはアメリカコロンビア市から中学生がそれぞれ来市し、ホームステイを行いながら白山市の自然や日本文化を体験しました。一方、白山市からは中学生がイギリスポストン町を訪れ、ホストファミリーとの交流を通して友好親善を果たしました。



ふるさと館で着物を体験するペンリス市高校生



太鼓ワークショップを行うコロンビア市中学生

ワクワク・どきどき 異文化体験ホームステイ交流2006



ポストン町で地元中学生と交流する白山市中学生



ポストン町でカヤックを体験する白山市中学生

C・O・N・T・E・N・T・S

- 特集 ワクワク・どきどき
異文化体験ホームステイ交流 2006……………1～3
- H.I.A. トピックス
はくさんキッズ英語スクール……………4
- H.I.A. だより ……………5～7

- サロンのページ……………8
- JICA 現地レポート ……………9
- “あなたも親善大使” お便りコーナー……………9
- JET のひろば ……………10～11
- H.I.A. からのお知らせ ……………11～12

特集

ワクワク・ドキドキ 異文化体験ホームステイ交流

ようこそ白山市へ

Welcome to Hakusan City

第7回豪州ペンリス市高校生
ホームステイ交流受け入れ

2006年4月16日～26日 10泊11日
ペンリス市高校生14名(男11名 女3名)
引率教諭2名

主なプログラム

- ホームステイ体験(10泊11日)
- 太鼓製作、演奏体験
- 鶴来高校、翠星高校授業体験
- 着物着付、茶道体験



▲市内ホテルでのさよならパーティー



▲樹木公園の満開の桜の木の下で



▲鶴来高校でラグビー試合



▲園児が歓迎のお出迎え



▲白山ろく民俗資料館周辺の残雪に大喜び

第8回米国コロンビア市中学生
ホームステイ交流受け入れ

2006年7月14日～24日 10泊11日
コロンビア市中学生15名(男9名 女6名)
引率教諭4名

主なプログラム

- ホームステイ体験(9泊10日)
- 瀬女コテージキャンプ
- 中学校授業体験
- C C Zバーベキュー&海水浴
- 太鼓体験



▲パーク獅子吼でのさよならパーティ



制服を着て中学校へ通学



歴史を学ぼう“クイズラリー”



瀬女コテージでキャンプ



出発の朝、“また会う日まで”

コロンビア中学生のホストファミリーのひとつと

最初はどうなることかと本当に心配だったのですが、幸いにも近くにホストファミリーで知っている人たちがいてくれたおかげでいろいろと助けて頂いてどうにか無事に終わることが出来、ホッとしています。あっという間で夢だったのかな～と思うこともあります、思い出の映像を見ながら思い出話をしている今日この頃です。

楽しかったイギリスでのホームステイ Homestay in England

第7回英国ポストン町中学生
ホームステイ交流派遣

2006年7月15日～28日 13泊14日
市内中学生23名(男7名 女16名)
随行者2名

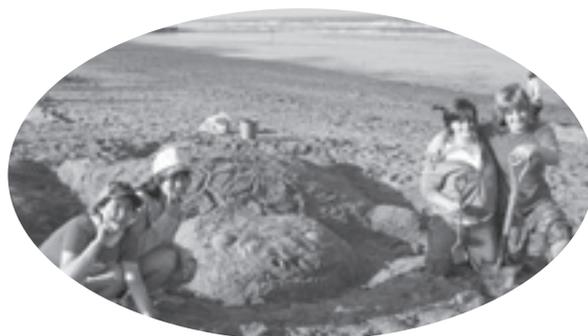


古い町並みを残すポストン町

主なプログラム ●ホームステイ体験(10泊11日) ●湖上でのカヤック、砂の彫刻
●中学校訪問、授業体験 ●サンババンド ●豚の丸焼きパーティー



▲地元中学校を訪問し授業に参加



▲ポストン町近郊の海岸で
サンドアート(砂の彫刻)に挑戦



▲さよならパーティーでは町長さん
からプレゼント



▲パーティーでは豚の丸焼きに
びっくり!



▲即興サンババンドで音楽交流

「Thank you」

山岸 悠(松任中2年)

このホームステイ体験は、僕にとって一生忘れられない最高の経験になるだろう。そして人生の財産になるだろう。毎日が最高で、思い出すと笑ってしまうようなことばかりだった。日本との文化の違いなどたくさんのことを学んだ。

飛行機から見えるイングランドは緑が豊かでときどき住宅地があって、あまりビルが無いように見えた。空港についてもまだ日本にいるような感じがした。バスに乗ると、怪しげなドアがひとつ、何かと思えば「TOILET」はじめて見た…こっつてバスだよね。途中で止まって休憩タイム、建物の中に入ると両替の機械があって£10札を入れるとジャラジャラと出てくる、£1は厚い、ゲームのコインかと思った。

到着して対面式、このときの緊張が一番だった。でもやさしく迎えてくれてとてもうれしかった。お父さんが「心配しないで」と何回も言ってくれたから大丈夫だった。このとき思った目標が『後悔しないように積極的にやる』ことだ。

帰る途中フィッシュアンドチップスを買って帰った。これが夜ご飯。家に帰ると同時に食べ始める。とてもおいしいけど量が多すぎる。「好きだけどおなかいっぱい」と言って残した。

イングランドの人はすぐ「thank you」といっていた。家の中でも外でも何があっても言う。たとえば店で買いたいものを出すと「thank you」、お金を出すと「thank you」、店を出るときに「thank you」、ちょっとぶつかったときにはお互いにこっと笑って「sorry」、これがすごい良いと思った。

最初はわからなかった会話でもだんだんわかるようになってくのがうれしかった。

僕が英語以上に上達したのは積極的にやることだと思う。

色々あった二週間だが、ついに別れの朝が来てしまった。最初から最後まで迷惑をかけてしまった僕だけど、最後に何か言おうと思っていた。「See you again.Thank you!」。これが僕の最後の言葉だった。「また来年」と思いながら手を振った。来年、彼らが来たときは僕達が受けたように温かく迎え入れてあげたい。

はくさんキッズ英語スクール

市内の小学生を対象に、楽しみながら英語を学ぶ「はくさんキッズ英語スクール」を春と夏の2回開催しました。授業を担当したのは、市内外のALT（外国語指導助手）の皆さんです。3月に行われた「日帰りスクール」には64名が、8月の2泊3日の「サマーキャンプ」には24名の小学生が参加しました。最初は不安そうな小学生たちも、ダンスや工作、ゲームなどの体を使った授業にどんどん引き込まれ、笑顔いっぱい英語に親しんでいました。

春休み 日帰りスクール（3月27日～29日）

場所：市民工房うるわしほが



▲3日間の成果を保護者の皆さんの前で披露



▲実験を行ったサイエンス



▲楽しいゲーム



▲メキシコのアート



▲イースターの紙芝居

参加した小学生の感想

- もう一回やってほしいと思った。すごく楽しかったからです。（5年男子）
- 他では味わえないような楽しみ方だったよ。（4年男子）
- ちがう学校の友達と仲良くなれてよかった。（4年女子）



夏休み サマーキャンプ（8月21日～23日）

場所：尾口小学校、瀬女コテージ村ほが



▲宿泊した瀬女コテージにて



▲英語劇のセリフ練習



▲鳥越城址でのクイズラリー



▲英語でお買い物



▲夜は絵本タイム

保護者の感想

- 親元を離れての宿泊は初めてのことで最初は不安もあったようですが、このキャンプで英語に親しめたことはもちろんいろいろな面で自信がついたようです。
- 家では簡単な挨拶は今でも使っています。



ペンリス市で保育実習 金城大学短期大学部学生

3月24日

市内の金城大学短期大学部幼児教育学科1年生28名が、オーストラリア研修視察の一環として、ペンリス市の4カ所の保育園で保育実習を行いました。学生の皆さんはグループごとに分かれ、日本から準備していった日本の遊びや着物、茶道などの文化を子供たちに紹介しました。この保育実習は毎年ペンリス市で行われます。



▲日本の遊びや衣装を紹介



イギリスの伝統文化を学ぼう スコーン作りとカリグラフィー

6月18日

国際交流員（当時）のクリスティ・イネットさんを講師にハーブの里ミントレイノでイギリスの伝統文化を学ぶ講座を行いました。参加した25名の皆さんは、自分たちで作ったスコーンとハーブティーでティータイムを楽しんだ後、イギリスの伝統的な飾り文字であるカリグラフィーを学びました。



▲本場のスコーン作りを伝授

日・台青少年文化交流 「歌仔戲と和太鼓」

6月25日

台湾オペラとも呼ばれる台湾の総合芸術と日本の伝統芸能の共演「歌仔戲と和太鼓」（白山市教育委員会主催、白山市国際交流協会後援）が松任文化会館大ホールで上演されました。舞台では歌仔戲人間国宝の廖瓊枝さんらのほか、秀朗国民小学校歌仔戲団の児童らが熱演しました。白山市側は、焱太鼓と若手太鼓グループ「緑光」、「サスケ」が出演し、観客の皆さんは伝統芸能の競演を堪能しました。

クリスティ・イネットさん、 国際交流員から外国語指導助手へ

8月4日

旧美川町と白山市での3年間、国際交流員として活躍してきたイネットさん（イギリス出身）は、8月3日で任期を終了し、角市長に退任のあいさつを行いました。在任中は、幼稚園での英語活動をはじめ、姉妹都市交流や国際交流イベントの企画、通訳、翻訳などを手がけてきました。8月からは外国語指導助手（ALT）として市内の小学校で活躍しています。

JICA協力隊の源田さん 市長へ帰国報告

7月31日

青年海外協力隊としてパナマ共和国に派遣されていた源田佳代さん（出合島町）が、このほど2年間の任務を終えられ、角市長に帰国報告を行いました。本誌でも、JICA便りとして、現地での活動をレポートしてくれた源田さんは、数学アドバイザーとして現地の教育に貢献したほか、折り紙や書道など日本文化を紹介し、親善を果たしたことを報告しました。

国際交流グラウンドゴルフ大会

9月18日

市内在住や在勤の外国人が参加して行う恒例のグラウンドゴルフ大会が松任海浜公園で開かれました。参加したのは、中国、アメリカ、ペルー、マレーシアの外国人30名と日本語指導のボランティアや市グラウンドゴルフ協会の会員の皆さん総勢60名が一緒にプレーしさわやかな汗を流しました。終了後は、モーニンググローリー松任のメンバーが作ったカレーライスを食べながら交流を深めました。

ドイツ・ラウンハイム市で 白山市を紹介

8月20日

ラウンハイム市で、8月20日、「ラウンハイム市鼓動運動」が行われました。これは、郊外の大型スーパーマーケットなどに押され、客足が少なくなっている中心部を生き生きさせようという活動の一環です。日曜日は、レストラン以外はいつも閉店という商店街もこの日は開店し、また、目抜き通りには、同市と関係のある都市を紹介するブースが出展されました。フランクフルト市在住で旧白峰村時代から姉妹都市交流のお手伝いをしているニース佐代子さんが、市から送った白峰地域のDVDや冊子、白山市のポスターやパンフを紹介するブースを出展し、ニースさんによる手作り品や日本の小物のフリーマーケットも行われ、市民の関心を集めたようです。



▲白山市を紹介するブース
(右側が出展したニース佐代子さん)

在住外国人のための日本料理教室

6月11日

市内在住の外国人に日本料理を学んでもらう料理教室がボランティアグループ「モーニンググローリー松任」の企画により、プラスあさがお調理実習室において開かれ、18名の外国人が参加しました。市食生活改善推進員の指導によりサバの竜田揚げ、ごちそうめん、豆腐の白和えの3品を作り上げ、全員でおいしくいただきました。



◀日本料理のレパトリーが増えました

ロータリークラブ交換留学生の市長表敬訪問日誌

白山石川ロータリークラブ交換留学生(7月28日)

- 派遣留学生として、安田誠史さん(徳丸町)が1年間カナダへ派遣されました。
- 宮田阿沙美さん(倉光八丁目)が1年間のオーストラリアでの留学を終え帰国されました。

白山ロータリークラブ交換留学生(8月9日)

- 松本賢祐さん(幸明町)が1年間のカナダでの留学を終え帰国されました。

●市内の国際交流あれこれ●

アジアフォーラム参加学生 和太鼓を体験

8月22日

日航財団の奨学生として来日し、2006アジアフォーラムin石川に参加したアジア、オセアニアの12ヶ国の学生37人は8月22日、白山市を訪れ、浅野太鼓楽器店で和太鼓演奏を体験しました。夜には、市民工房うるわしで歓迎レセプションが開かれました。

日韓合唱団

童謡音楽ふれあい交流会を開催

8月22日

韓国から童謡音楽協会合唱団の小中学生約50名が白山市を訪れ、8月22日、市松任学習センターコンサートホールにおいて、地元松任中学校合唱部や女声コーラスグループの皆さんとともに美しい歌声を披露しました。韓国からの訪問団の皆さんは、金沢コンベンションビューローの受け入れで、県内では輪島市と白山市で上演しました。

アフリカから教育関係者 白山市の学校運営を学ぶ

9月10日、21日、29日

JICA北陸の地域別研修「サブ・サハラ・アフリカ地域における学校運営改善」コースを受講するアフリカ5ヶ国の教育関係者や小学校校長10人が、白山市役所を訪れ、学校と地域の連携の現状などを学びました。一行は、市内の広陽小、白峰小、東明小、湊小の4校を訪問し、日本の初等教育現場を視察しました。

H.I.A. だより

第20回 ジャパンテント留学生 —白山市を満喫

今年のジャパンテントは、34ヶ国から57名の留学生が8月1日～4日までの3泊4日の日程で白山市を訪れました。滞在中は、49のご家庭でホームステイを行いました。今年は、受け入れが平日ということもあり、市の方でプログラムを用意しましたが、ご家庭によっては、留学生と水入らずで交流を楽しまれたご家庭もあります。市のプログラムに参加された皆さんは、暑さにも負けず、獅子吼高原ヘトレッキングしたあと、鶴来地域のウォークラリーを行ったほか、文化体験として太鼓演奏とうちわ作りにも挑戦し、白山市の自然と文化を存分に味わいました。



●自然を楽しむ —獅子吼トレッキングとバーベキュー



▲トレッキングを終え、山頂をリフトで移動



▲山頂のスカイ獅子吼にてバーベキュー

●歴史を訪ねる —鶴来ウォークラリー、白山ろく民俗資料館



▲スタンプ地点のひとつ 横町うらら館



▲館内ではボランティアの皆さんから冷茶のサービス



▲白山ろく民俗資料館を見学

●文化を学ぶ —太鼓ワークショップとうちわ作り



▲太鼓に挑戦（浅野太鼓楽器店にて）



▲オリジナルのうちわ作り（ふるさと館にて）



“サロンのページ”



白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間	午前9時～午後6時		
休館日	月曜日(祝日の場合はその翌日)、 12月29日～1月3日まで		
場 所	〒924-0872 白山市古城町2 (学習センター向い、松任文化会館横)		
TEL/FAX	076-274-3371		
E-mail	miasalon@asagaotv.ne.jp	http://www.asagaotv.ne.jp/~miasalon/	

最近の日本語クラス 日本語能力検定試験に向けて猛勉強!

現在、約70名の外国人の方がサロンで勉強しています。12月に日本語能力検定試験にチャレンジする人達は、それに向けて頑張っています。日本にいる間にぜひ合格し、母国に帰りたいと、仕事が終わってからの短い時間に勉強しています。そんな姿に少しでも力になりたいと日本語指導ボランティア自身も勉強し、指導しています。毎年、外国人の皆さんからの「合格しました!」の報告がとても嬉しい瞬間です。



ザ・インタビュー

日本に来て驚いたこと、嬉しかったこと、困ったことは何ですか。

- 冬の時、厚い雪と雷が一番びっくりしたことです。日本に来て、いい先生から日本語を教えてもらって、一番うれしいことです。私は日本語の発音が正しくないので時々、相手がわからないから、困ったなあ。
朱 新紅(中国)
- 私は日本に来て驚いたことは会社の同僚はご飯を食べる時は、いつも同じ席に座ってる。うれしいことは日本語を勉強すること。困ることは、自分で料理を作らなければならない。白山市はきれいな町です。
江 俊(中国)
- 私が日本に来て最も驚いたことは何と似ている生活か、ということです。もし私の言葉の壁がなかったら私のホームタウンにもっと似ていると思います。ここ日本へ来て居心地がいいのはそんな理由からだと思います。私はまだそんなに日本を旅行していませんが、私の好きな場所は白山市の手取峡谷と小松の那谷寺です。
トーニャ・スミス(アメリカ)

～サロンからのお知らせ～

とにかく話そう・分かり易い中国語講座 開講中

毎週土曜日 13:30～15:00 11月25日まで
台湾出身の夏 秋香さんを講師に、9月2日より開講しています。毎回4～5名の参加があります。一年程の学習経験者の方であれば、途中参加もOKです。お問い合わせ・お申し込みはサロンまで。



日本語指導ボランティア募集

まだまだ教えて欲しい外国人に対しボランティアが不足しています。過去に日本語指導基礎講座を修了した方、あるいは10月20日よりスタートする同講座の修了予定の皆さんの登録をお待ちしています。

サロン企画「オーストラリア見聞」を11月に予定しています

外国を紹介するシリーズ「見聞」を行います。講師は、市内の高校に通う交換留学生です。詳細な日時は、近くなりましたら、サロンへ直接お問い合わせいただくか白山市国際交流サロンホームページでお知らせします。

このページの執筆は、サロンに勤務する方やボランティアの方によるものです。

エチオピアは9月11日が元旦!?

Kyoko Yoshida

皆様、明けましておめでとうございます！と、いつでも日本はまだお正月ではありませんね。ここエチオピアでは9月11日に新年を迎えました。今年から1999年です。そもそもエチオピア暦はユリウス暦の影響を受けていて9月11日が元旦にあたり、1月～12月までは1ヵ月30日、残りの5日（うるう年は6日）は13月となります。お正月といっても特別なお祭り



お正月に大家さんの家でエチオピア料理をご馳走になる吉田さん

がある訳でもなく、家族や親戚などが集まって一緒に食事をしたり教会へ行ったりするくらいだそうです。私のお正月は大家さんの家でおいしいエ

チオピア料理をご馳走になりました。その席で大家さんにタッジ（エチオピアの蜂蜜酒）を勧められました。以前お酒と知らずたくさん飲んで大変な目にあつた経験があつたので、今回はパスしました。エチオピアの首都は標高が高い（2400m）ので酔いが早く回つてしまいます。皆様もエチオピアに来た際はお気をつけて下さい。それでは今年もよろしくお祈りします！

吉田恭子さん（ハツ矢町）：青年海外協力隊員

エチオピア、アディスアベバ市のティグバレド工業技術短大の製図学科に配属され、CAD（PCを使って図面を作成する）授業や建築意匠図の授業を担当。また、JICA専門家の住民参加型基礎教育改善プロジェクトで学校建設現場に同行し技術面のアドバイス、図面や書類の作成、ワークショップに参加する等、建築の分野で活躍中。任期は平成19年12月まで。

“あなたも親善大使”お便りコーナー

このコーナーは、親善友好都市を訪問された方など草の根レベルで国際交流を行っている方を紹介するコーナーです。皆さまからのお便りをお待ちしています。

イギリス・ボストン町でホームステイ

ロンドン・ヒースロー空港から地下鉄に乗って約1時間でハリーポッターに登場するキングス・クロス駅に到着。BR（日本のJRに相当）に乗り換えてさらに1時間ほどでピーターバラ駅に到着しました。駅の連絡橋の途中で上品な女性が「高本さんですか？」と声をかけてくれました。「ホッ」と安心した後、彼女の車で一路ボストンへ。途中の車では家族のことなどを話しているうちに到着しました。紅茶とクッキーをいただき、しばらくして夕食。食堂に案内されての晚餐。「感激!!」翌日は、市役所訪問。町長さんは土曜日にもかかわらず正装で公式面会をしてくださいました。私たちが歓待してくださることに改めて両市の友情を感じました。その後、近隣のリンコン市へ。映画「ダ・ヴィンチ・コード」の撮影地でもあつたキャツスルやキャセドラルを見学したり、自宅の近くに住むお母様や息子さん・娘さんそれぞれのお宅を訪問し親しくお話をさせていただきました。ツアー旅行では味わえない旅を提供してくださったホームステイ先のジョアン・アシュトンさんをはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。

高本 隆・公子（村井町）



ボストン町庁舎を訪問し、町長の歓迎を受ける高本さんご夫妻（右端がホームステイ先のアシュトンさん）

当協会では、“あなたも親善大使”をキャッチフレーズに親善友好都市を訪問される会員の方に助成金を交付しています。現地でのホームステイも紹介します。お気軽にご相談ください。

白山市のJETプログラムで招致している外国青年で小学校と中学校で英語を指導する外国語指導助手（ALT）は次の6名の皆さんです。どうぞよろしくお願ひします！



クリスティ・イネット
(イギリス・ロンドン)

4年目

Q1 好きな本や作家は？

A) 村上龍が好きです。中でも「69 sixty nine」が一番好き。1969年、長崎を舞台に高校生が自分たちの街に音楽フェスタを作りあげていくというお話でとても共感しました。ロンドンでは村上龍の本がブームです。

Q2 白山市にあるといいもの

A) 屋外のアイススケート場。ロンドンやニューヨークの街中の広場に冬の3ヶ月間だけ作られます。リンクの周りにはホットチョコなどの屋台がずらり。イルミネーションもきれいで若者が集まります。おかりや公園や白山比咩神社の駐車場にいかが？



フィリップ・ゼッティ
(アメリカ・コネティカット州)

4年目(白山市は1年目)

Q1 行ってみたいところは？

A) 北海道。アイヌ民族と日本の歴史についてもっと知りたいから。また、雪とスローライフが好きだからです。

Q2 白山市にあるといいもの

A) 市民が自由に散歩できる庭園があるといい。そこでは、石川県にある花なんかをアピールするといひです。



ジョン・マーブル
(アメリカ・ミズーリ州)

3年目

Q1 好きな本や作家は？

A) ダグラス・アダムスの「銀河ヒッチハイクガイド」シリーズです。とても笑えるサイエンスフィクション。主人公アーサーは、地球が滅亡した後、銀河を旅するイギリス人。彼が次々と出会うエイリアンの行動が奇怪であり、また彼自身の行動がエイリアンにとって奇妙に映る。

Q2 白山市にあるといいもの

A) メキシコ料理のレストラン！主に大豆とチーズが原材料の料理です。東京では一般的ですが、残念ながら、この辺ではあまり見かけません。



デボラ・ジョンソン
(アメリカ・アラバマ州)

2年目

Q1 出身地はどんなところ？

A) アメリカ南部アラバマ州は、もともと原住民インディアンの地でした。たくさんの公園、森、ビーチ、野生生物とアラバマの自然は美しいです。日本のピクチャーやドイツのメルセデスベンツ、フランスのBFグッドリッチタイヤなど外国企業が多数立地しています。人々はとっても親切でオープンです。気候は夏が40~50℃で暑く、冬は寒いけど、白山市ほどではなく、雪はめったに降りません。

Q2 白山市にあるといいもの

A) ティズニーランドみたいな大きなテーマパーク。そうすれば、人々の働く場も広がるし、観光で市の収入も大幅アップします。



オーゾーデ・ポウ
(イギリス・ウェールズ州)

2年目

Q1 出身地はどんなところ？

A) 生まれはイギリスですが、私のルーツはベルシャ人です。ベルシャはとってもきれいな国で日本と共通点がたくさんあります。古い伝統や文化を重んじること、人に優しく、思いやりがあること、共通点がたくさんあるから、今、日本でとても住みやすいです。

Q2 白山市にあるといいもの

A) 駅の近くなど中心部にコミュニティセンターがあるといいです。地域の人が気軽に利用できること。若い人もお年寄りも、リラックスした雰囲気の中で自然に交流できたり、学びたいことが学べる社交の場があるといひと思います。



クリストファー・キャンベル
(オーストラリア・シドニー)

1年目

Q1 あなたが行った国でおすすめのところは？

A) マレーシアです。マレー系、中国系、インド系の人々が混在しています。この人種の多様性はマレーシア料理に反映されています。私のお気に入りにはインド料理です。北東にある海岸、ランカウイ島はおすすめ。人々はフレンドリーで、天候はつねに温暖です。

Q2 白山市にあるといいもの

A) ありのままの自然、庭園や公園。こちらに来て残念に思うのは、すべてがコンクリートでかためられています。失った自然はもう戻りません。私は、森の中を歩いたり、木の下や草の上で休むのが好きです。

お世話になりました

白山市で、ALTとしてご活躍いただいたお二人から離任にあたり、メッセージをいただきました。



▲ダニエルさんの描いた市庁舎

ダニエル・ポーター

(アメリカ・ミズーリ州出身、滞在3年間)

松任市へ初めて来た日に雨が降りました。白山市を離れる目にも雨が降りました。この天気は大変でしたが、多くのやさしく、そして素晴らしい人々のおかげで、白山市はとても住みやすかったです。三年間はとても早くすぎ、そして白山市のいろいろなものが変わりました。ここに来ることができて、本当によかったです。お世話になったたくさんの方々にお礼を言いたいです。できれば、また白山市に帰ってきたいと思います。そして4回目白山登山をして、快晴の日の美しい眺めを見たいと思います! "Goodbye Everyone."



▲子供たちにアイルランドの曲を紹介するケビンさん

ケビン・マリー

(アイルランド出身、滞在5年間、うち白山市では2年間)

白山市の子ども達には、英語に限らず、中国語でも韓国語でも外国語を一生懸命勉強して欲しいと思います。外国語を学ぶことは、他の国々の人々と友達になる一番いい方法です。そうすることで、世界に平和をもたらすことができるからです。また、市民の皆さんにはこれからも白山市がずっと美しいままであるよう努力してほしいですし、子ども達にもそう教えていって欲しいと思います。

参加者募集!!

H.I.A.からのお知らせ

国際理解講座のお知らせ

「いろんな英語を学ぼう」

世界の共通語である英語-その英語も話されている国や地域によって発音や表現が異なります。白山市の3ヶ国出身の各ALTがおもしろ楽しく自国の文化や言葉を紹介しします。講義は英語で行います。

- 第1回 11月15日(水)
アメリカの英語 American English
講師: ジョン・マーブル、デボラ・ジョンソン
- 第2回 11月22日(水)
イギリスの英語 British English
講師: クリスティ・イネット、オーゾーデー・ポウ
- 第3回 11月29日(水)
オーストラリアの英語 Australian English
講師: クリス・キャンベル
- 第4回 12月6日(水)
"英語の違いを楽しもう!"(まとめ)
講師: 全員

「アジアの料理と文化を学ぼう」

アジアの国々を、料理と文化で知る講座です。韓国のチヂミ、タイのトムヤンクンなど、人気のアジア料理を作りながら、それぞれのお国のお話も聞きます。講師は、第1回と第2回は市内在住のアジア各国出身者、第3回は県国際交流員です。なお、保育室を設けますので、お子さま連れの方大歓迎です。

- 第1回 11月14日(火) …フィリピン料理
講師: 平岡セシリア、岡本マイラ
会場: 美川文化会館 調理室
- 第2回 11月21日(火) …タイ料理
講師: 村本ダン
会場: プラスあさがお 調理室
- 第3回 11月28日(火) …韓国料理
講師: 朴 眞美 (県国際交流員)
会場: 美川文化会館 調理室

- 時間はいつでも、午後7時30分~9時
- 場所は、第1回~第3回は市民交流センター、第4回のみ、鶴来総合文化会館(クレイン)
- 定員: 各30名
- 参加費: 全講座を通して1,000円 (ただし、2回以下の場合は500円)
- 申し込み: 電話で白山市国際交流協会へ (TEL 076-274-9520) 白山市国際交流サロン (TEL 076-274-3371)
- 締め切り: 11月10日(金)まで

- 時間はいつでも、午前10時30分~午後2時
- 定員: 各20名
- 参加費: 全講座を通して1,000円 (ただし、2回以下の場合は各500円)
- 申し込み: 電話で白山市国際交流協会へ (TEL 076-274-9520) 白山市国際交流サロン (TEL 076-274-3371)
- 締め切り: 11月8日(水)まで
- 当日は会場に保育室を設けます。ご利用の方は、申し込みの際にお申し出ください。

H.I.A.からのお知らせ

テーマ
Haiga 俳画



第12回国際フレンドシップアート展



本市をはじめ親善友好都市6ヶ国7都市の小、中学生が描いた作品を巡回展示します。感性豊かな世界の子どもの俳句と絵画を併せた「俳画」をお楽しみください。海外の俳句は日本語に翻訳されて展示します。ぜひ、ご覧ください。

●出展都市・学校

(親善友好都市から)

静岡県藤枝市、コロンビア市 (アメリカ)、ペンリス市 (オーストラリア)
溧陽市 (中国)、ボストン町 (イギリス)、ラウンハイム市 (ドイツ)

(市内の小学校から)

松任小、蕪城小、蝶屋小、朝日小、河内小

日程	展示会場
10月13日(金)~10月23日(月)	道の駅 瀬女
10月24日(火)~11月2日(木)	市立松任図書館
11月14日(火)~11月22日(水)	市立かわち図書館
11月22日(水)~12月1日(金)	パーク獅子吼ふるさと館
12月11日(月)~12月18日(月)	美川コミュニティプラザ
12月18日(月)~12月27日(水)	市民交流センター

(年内日程のみ記載)

世界の絵本読み聞かせ

毎月第3土曜日 13:30 ~ 14:00
場 所：松任図書館2階読み聞かせルーム
対 象：どなたでも



▲和訳は金城大学の学生または協会のボランティアが行います。

〈今後の予定〉

11月18日(土) マレーシアの絵本
読み手：ローゲック・リンさん (白山市在住外国人)
12月16日(土) クリスマスの絵本
読み手：クリスティ・イネットさん (白山市 ALT)

韓国語版の観光ガイドが出来上がりました

白山市では、観光パンフレットの韓国語版をこのほど作製しました。今後増加が見込まれる韓国からの観光客や留学生などをターゲットに白山市の魅力アピールしていきます。

問い合わせ 観光振興課 TEL076-274-9545

会費納入のお願い

当協会は会員の皆様からの貴重な会費によって運営されています。平成18年度の会費納入がまだの方は早めに納入くださいますようお願いいたします。

○普通会員 一〇 1,000円
○特別会員 一〇 10,000円

いしかわ国際交流 フェスティバル・イン小松

- 日 時：11月3日(金)
午前10時~午後5時
- 会 場：小松駅前市民公園
こまつ芸術劇場うらら
- 主 催：いしかわ国際交流フェスティバル・イン小松実行委員会
- イベント内容：世界の屋台料理コーナー、親子対象イベント(英語あそび、世界を遊ぼう)、英語落語など楽しい行事がいっぱいです。白山市国際交流協会も活動紹介パネルを展示します。
※お揃いでお出かけください。



《協会行事予定》

- 国際親善クリスマスパーティー
12月17日(日) パーク獅子吼ふれあい館
- H.I.A. 英会話講座(入門、初級、中級)
1月~3月に予定しています。近くなりましたらご案内します。

編集後記

白山市のJET6名に「白山市にあるといいものは？」とうかがった。答えは公園や屋外アイススケート場、テーマパークにコミュニティセンターといろいろ。しかし、彼らの答えに共通していえることは、人々が集まり、そこでくつろいだり、にぎわったりできるということ。しかも、お年寄りも若者も、外国人も日本人も自然な形で集えるといいのだろう。

さて、当協会では今年度残り半年、さまざまなイベントを予定しています。会員皆様の多数のご参加をお待ちしています。また、協会へのご希望、ご意見もぜひお寄せください。

ふれんどりい

発行 ■ 白山市国際交流協会 (Hakusan International Association)
事務局 / 白山市役所総務部都市交流課
TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9518
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp